

のらぼう



【事務局】

住所：川崎市多摩区菅2-6-1
電話番号：044-944-2107
(川崎市立菅小学校内)

発行責任者／羽鳥祥子
編集責任者／國分朋子
編集発行／広報委員会

2024年度まとめ

菅中学校区地域教育会議 活動報告号



子どもがいきいき育つまち
おとも楽しく学べるまち

私たち菅中学校区地域教育会議は、「菅小学校」と「菅中学校」の学区を対象に活動を行っています。菅中学校区域(地図の枠内)の「町内会・子ども会・青少年指導員等の地域住民」「小中学校の教職員・保護者」など、様々なメンバーから構成されており、川崎市教育委員会が市内全中学校区、行政区に委託・推進している組織です。

2024年度 活動報告

- 5月 総会
- 9月 「子ども会議」委員会 第1回ディスカッション型子ども会議
- 11月 第1回ネットワーク会議 グループ討議
- 12月 「子ども会議」委員会 体験型子ども会議「冬フェスタ」
- 1月 「教育を語るつどい」委員会 イベント「地域の仲間と語り合おう」
- 1月 「子ども会議」委員会 第2回ディスカッション型子ども会議
- 3月 第2回ネットワーク会議 活動振り返りとグループ討議

2024年度総会の様子



議長挨拶

菅中学校区地域教育会議 議長 羽鳥祥子



2024年度は菅小、菅中両校ともに「コミュニティスクール」化し、2年目の年でした。両校で開催される「学校運営協議会」には、我々の組織から「地域教育コーディネーター」として、山本勇樹さんが菅小へ、香取勝喜さんが菅中に参加し、私も議長、もしくは寺子屋コーディネーターの立場で参加させていただいております。文部科学省の公式サイトに「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)では、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。」(https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/community/より引用)と書かれています。それと並んで、我々の組織「地域教育会議」は、「地域学校協働活動」を担う場として期待され、実際に子どもたちの育つ環境をよりよくするための活動をする目的のためにあります。地域住民が学校と共に「よりよい学校の運営を考える」「学校と協働していく」とはどういうことでしょうか。3年目となる2025年度は、さらに運営協議会メンバーと共にその点を深めていきたいと思っております。

新聞に川崎市教育委員会では、今年度も122.5人の教職員不足でスタートとありました。日本は先進国の中で、とびぬけて高い子どもの自殺者数、不登校の子どもたちの増加、闇バイトの罠など、学校だけでは解決できない問題が山積みです。子どもたちは将来、地域や日本を支える大切な宝です。地域に住んでいる私たちも、自分事として、社会や地域の学校の課題に向き合い、できることを探していく、そんな菅の街を実現していきましょう。

◆2024年度菅中学校区地域教育会議メンバー◆

- <役員>
- ◇議長 / 羽鳥祥子
 - ◇副議長 / 香取勝喜・山本勇樹・善岡憲治・米山正洋・今泉 進
 - ◇会計 / 鈴木和美
 - ◇会計監査 / 花村勝巳・衛守 剛
 - ◇事務局長 / 木村 徹

役員メンバーは総会・ネットワーク会議の企画・運営を行い、川崎市の代表者会議や行政区の交流会に参加し、他校区、行政区との情報交換、また行政区や市全体への意見、問題提起などを発信しています。

協同・共同

共に連携しあい、
地域教育力の向上を目指して
菅中学校区の
子育てや生涯学習を考えます

「ディスカッション型子ども会議」と「体験型子ども会議」を企画・実行しております。「ディスカッション型」は中学生を主体とした話し合い、「体験型」は競技を通じて異学年との交流を深める「冬フェスタ（ミニ運動会）」です。

「子ども会議」委員会



- <委員長> 佐々木由果 (住民委員)
<副委員長> 米山正洋 (住民委員)
<会計> 藤井奈美 (住民委員)
<メンバー> 香取勝喜 (住民委員)
木村 徹 (住民委員)
中原博明 (住民委員)
加藤伸吾 (菅中教員)
後藤 壮 (菅中教員)
関澤春泰 (菅中教員)
吉岡久美子 (菅小総括教諭)
望月美和子 (菅小教員)
横田花純 (菅小教員)
本田祐一 (菅小教員)
衛守 剛 (菅小PTA会長)
平山みどり (菅中PTA)
太田明美 (菅こ文館長)
中元美樹子 (菅保育園)
虎口利信 (菅子ども部会)
山根利子 (青少年指導員)
尾形 隆 (スポーツ推進委員)
西山ゆみ (スポーツ推進委員)

環境委員会

地域で子どもたちを健全に育成するために、世の中の動き、社会的問題を踏まえて、菅の環境について話し合います。



- <委員長> 善岡憲治 (住民委員)
<副委員長> 鈴木健一 (住民委員)
<会計> 今泉 進 (住民委員)
<メンバー> 田島清隆 (住民委員)
山本 新 (菅中教頭)
相川 仁 (菅小教頭)
前川香菜子 (菅小教員)
平山方夫 (保護司)
西山 昇 (菅町会)
藤原裕二 (菅第一地区民児協)

様々な関連団体から構成されています

住民委員・菅中学校・菅小学校・菅保育園
 菅こども文化センター・保護司・菅中菅小PTA
 菅町会・菅子ども部会・青少年指導員
 スポーツ推進委員・菅第一地区民児協



菅小学校
戸塚 裕康 校長



菅中学校
竹内和則 校長

【オブザーバー団体】

- 菅小学校わくわくプラザ
- 愛児園学童ホール
- 菅小学校・寺子屋「菅人(すげんちゆ)」運営委員会
- 菅中学校・寺子屋菅中実行委員会

菅中学校区地域教育会議の構成員は、学校長・こ文館長・PTA会長などの**非選出委員**と学校教職員・PTA（会長を除く）・子ども部会・民児協などの**選出委員**、活動の要となる**住民委員**で構成されています。また、オブザーバー団体もネットワーク会議に参加します。

「教育を語るつどい」委員会

大人が中心となって地域を知り、意見交換や話し合いで地域の交流となる企画をします。



- | | | |
|--------|-------|------------|
| <委員長> | 倉持暁好 | (住民委員) |
| <副委員長> | 花村勝巳 | (菅中PTA会長) |
| <会計> | 千葉朋之 | (菅子ども部会) |
| <メンバー> | 梅垣美香 | (住民委員) |
| | 鹿島 智 | (住民委員) |
| | 高森康広 | (住民委員) |
| | 深澤孝文 | (住民委員) |
| | 築地美津子 | (住民委員) |
| | 蒲澤陽子 | (菅中教員) |
| | 林 大輔 | (菅中教員) |
| | 佐々木里佳 | (菅中教務主任) |
| | 三島史子 | (菅小教員) |
| | 笠松樹里 | (菅小教員) |
| | 飯尾 恵 | (菅小教員) |
| | 中崎明那 | (菅小PTA) |
| | 藤谷博充 | (菅中PTA) |
| | 中田英徳 | (青少年指導員) |
| | 田中千恵子 | (菅第一地区民児協) |

広報委員会

地域教育会議の活動を広くお知らせするため、広報紙「のらぼう」の編集・発行をします。



- | | | |
|--------|--------|----------|
| <委員長> | 國分朋子 | (住民委員) |
| <副委員長> | 山本勇樹 | (住民委員) |
| <会計> | 鈴木和美 | (住民委員) |
| <メンバー> | 品川征忠 | (菅中教員) |
| | 鈴木こずえ | (菅小教務主任) |
| | 六ツ崎麻衣子 | (菅小PTA) |



2024年度 各委員会の活動と取り組み

「子ども会議」委員会

委員長 佐々木由果

昨年度に引き続き「子どもの権利」をテーマに、ディスカッション型子ども会議を行いました。会議の前に、『世界の子どもの権利かるた』や『なんでやねん！すごろく』を体験したことにより、グループの雰囲気もぐっと柔らかくなりより話しやすい環境が整ったように感じました。また恒例の冬フェスタでも、異学年でグループを組むことでゲームを進めるうちに自然と声を掛け合い、助け合って取り組む姿がたくさん見られ、とてもうれしく思いました。これからも、子どもたち一人ひとりの思いや考えにしっかり耳を傾けながら、よりよい活動を続けていきたいと思えます。



ディスカッション型子ども会議

子ども会議では色々な人と協力して問題を解決することに前向きになれます。ぜひ参加してみてください！

日時：2024年9月18日(水)
会場：菅小学校特活室、図書室
参加者：小学生5名、中学生32名、大人スタッフ16名
テーマ：「身の回りのなんでやねん」

「なんでやねん！すごろく」は「子どもの権利条約関西ネットワーク (<https://kodomonokenrikansai.wixsite.com/network>)」さんが子どもと一緒に作成した子どもの権利条約を学べるすごろくです。



第1回子ども会議では「なんでやねん！すごろく」を体験し、「身の回りのなんでやねん」と感じる様々なことについて子ども会議が行われました。このすごろくでは子どもの持つ権利について楽しく知り、感じたこと考えたことを共有しながら、子どもたち自身も自分たちに何ができるかを考えることができます。子どもたちはなんでやねんカードを使いながら模擬会議を行ったのち各グループに分かれ、身の回りの「なんでやねん！」と感ずることについて本会議、グループ発表を行いました。前半では小学生の参加者が「世界の子どもの権利かるた」と「なんでやねん！すごろく」を通して、学校のことや身の回りの様々なことについて意見を交換しました。後半では場所を図書室に移動し、中学生32人を迎え7つのグループに分かれて模擬会議を行いました。議長となりテーマに基づいた意見をたくさん出し合い、また耳を傾けていました。このように自分の意見を言える場所があることを実際に体験することで子どもにも社会の色々なことに意見する権利、参加する権利を感じたことでしょう。そして大人たちもまた、子どもたちが感じることや子どもの事情を大人も想像し寄り添い、子どもと一緒に考えることの大切さを学ぶことが必要なのかもしれません。



日時：2025年1月22日(水)
会場：菅小学校特活室
参加者：小学生23名、高校生1名、大人スタッフ9名
テーマ：「世界の子どもの権利かるた大会」かるたで学ぼう子どもの権利

第2回子ども会議では「世界の子どもの権利かるた」大会が開催されました。まず子どもたちは「子どもの権利」について生きる権利をはじめ世界中すべての子どもがもつ権利をスライドで学びます。その後小学生たちはかるたを通して、世界中の子どもたちと自分たちの権利について感ずること、そして身の回りのさまざまなことについて考え意見交換をしました。またかるた札の中でどんな権利に興味があったのかもみんなで考え意見をする時間もありました。

実施後のアンケートでは、「こんなにも子どもの権利があるなんて知らなかった」「今日知った権利について次の参加でもっと話してみたい！たくさんの人の意見が聞いてみたい！」「みんな意見が違い難しかったけれど、それがまた楽しかった！」など様々な感想が寄せられ、回収アンケート全員の子がまた参加したいと答えていました。自分たちが持つ権利について知るきっかけや考える貴重な時間になったことはもちろん、お互いの考えに耳を傾けることや自分の意見を話すことの楽しさや大切さにも気づく時間になりました。



体験型子ども会議

「冬フェスタ」

2014年「菅グランプリ」の名前ではじまった体験型子ども会議「冬フェスタ」は、2022年度春フェスタを入れて今回で9回目となりました。集まった小学生を学年を混ぜた6グループにし、グループ対抗で6つの競技を行い競技上の順位とチームワークを競います。異学年同士で声をかけあい、誰でもできる競技を通じて協力や交流を深めるものとなっています。また、審判は地域の大人、学校教員が行い、参加した子どもたちは地域交流、異学年交流、初対面同士の意見交換の経験も兼ねます。

日時：2024年12月14日(土)
会場：菅小学校体育館
参加者：小学生40名、大人スタッフ36名
テーマ：冬フェスタ (ミニ運動会)

グループに分かれ、まずは仲良くなろう！

異学年ミックスのグループに分かれ、まずはお互いに自己紹介をします。今年度は小学生のみの参加でしたが、5・6年生が上手にリードしていきます。はじめはごちない低学年の子どもたちも高学年のお兄さんお姉さん、周りでそっと声掛けする大人たちに見守られ、すこしずつ緊張もほぐれていきます。チーム対抗競技についてルールをみんなで確認したり順番やコツなども話し合ったりしながらワイワイと作戦会議していきます。

楽しく競技♪競技にはチームワークと声掛けが大切！

リーダーを中心に協力し合い、サーキット競技6種類を順番に進めていきます。また途中で休憩1か所を入れるため、休憩中は作戦会議をしたり他のチームの頑張りをのぞき自分たちのチームで取り入れられることを相談しているチームもありました。

★ブラインドサッカーPK ★玉入れ ★ペットボトルボウリング
★ふわふわフリースロー ★走れジョン ★パイライン

各競技の採点する大人スタッフは得点数だけではなく、見守りながらチームの声掛けや団結の様子なども見ていきます。はじめは進め方や競技の順番に戸惑う低学年もいましたが、高学年がルールをわかりやすく説明してあげたりチーム内の雰囲気盛り上げる言葉かけをしたりチームを引っ張っていく様子も見られ、一緒にチームを盛り上げ声を掛け合うことで学年を超えた繋がりや交流がうまれていました。最後は先生チームも参加し、一斉に「高さで勝負カブラ積み」で全競技が終了しました。

競技を通して仲良くなったみんなで、菅のまちについて話し合おう！

チーム戦を終えて仲良くなったあとは、各グループごとにミニ会議が行われました。「菅の町でからだを動かして遊べるところ」「遊んでいるときに家族以外の大人から怒られたことがあるか」をテーマに意見交換をしていきます。グループ発表では子どもの目線から見える「菅の町の遊び場事情」がうかがえる意見がたくさん出ました。

終わった後は、スタッフも振り返りの会

冬フェスタ終了後、参加した大人スタッフの地域教育会議メンバー・教職員らで振り返りの意見交流会が行われました。こうしたスタッフ同士の気づきの意見や反省や次に繋がる意見交流は地域教育会議として貴重な時間の一つです。

- 高学年を中心に作戦会議している様子が見られて嬉しかった。
- 普段のクラスの様子では見たことのない年下の子への声掛けや気遣いなど、新しい一面を垣間見ることが出来て新鮮だった。
- 貴重な異学年交流が出来て、子どもたちにとっても見守る大人たちにも良かった。

など様々な感想が述べられ、イベントの手ごたえを感じるとともに次回に向けた前向きな話し合いがされました。



「教育を語るつどい」委員会

テーマ:地域の仲間と語り合おう

つながろう つなげよう 地域のわ!

日時: 2025年1月25日(土)

場所: 菅中学校体育館

参加者: 32名

つながろう
つなげよう
地域のわ!



1/25(土) 菅中学校体育館にて、「地域の仲間と語りあおう」をテーマに「教育を語るつどい」委員会のイベントが開催されました。

前半では、「教育を語るつどい」委員会メンバー梅垣さんがファシリテーターとなり、任意非営利団体「マチノパズル」主要メンバーとして活躍している代表・築地さんと副代表・中崎さんから活動の様子や体験談を交えて話を伺いました。

「マチノパズル」ではまちライブラリーとして不登校・障がい・単身シニアなど社会で生きづらさを抱えている人々が安心して集える居場所作りや、園芸や畑作業を通じて季節と農作物のライフサイクルを自然な形で感じたり互いに交流を図る園芸部の活動、認知症や介護についての支えあいへの活動などさまざまな活動を行っています。スライドを見ながらまちづくりの推進から不登校支援、多世代交流など人と人のつながりを大切にしている活動の様子やこれまでの歩みについて、参加者は耳を傾けていました。

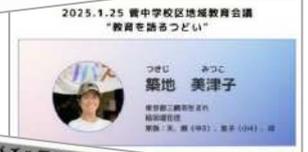
後半は、**グループ討議と交流**が図られました。

- ウェルビーイングについて ●子どもの体験・経験させたいこと
- 大人・子どもの居場所 ●働き方を考える ●先生の現状・学校の今

5つに分かれたグループでは上記について、答えや解決を導くのではなくまずは参加者が互いの考え方に触れ繋がりを広げていくことをコンセプトに進んでいきました。時間の使い方、大人と子どもの距離感や周囲との関係性、安心できる居場所について、失敗、達成、目で見て肌で感じる経験などの影響や大切さ、グループでの話し合いは多岐にわたり、参加者たちは互いに耳を傾け顔を合わせての対面の会話の時間を有意義に感じているようでした。

【当日の内容】

- ◆地域活動団体の紹介
「マチノパズル」
- ◆みんなで楽しく語り合おう
(グループ討議)



グループ討議の様子

いいかげんではなく
「良い加減」で仕事に向き
合うことも必要



任意非営利団体「マチノパズル」の皆さん
※今回活動紹介を行ってくれたのは
写真中央・築地さんと右から2番目・中崎さん

居場所ってなんだろう。

理不尽なことも世の中には
たくさんある。でも乗り越える
力を身につけていってほしい。

自身の価値観や行動が周囲と
の関係性を変えていき
ウェルビーイングな環境を
作っていくのでは。

5グループに
分かれて
話し合う

参加後のアンケートでは、

- 今回のように、たくさん話せる時間があるとうれしいです。「つながろう」「出てみよう」と思う人が、一步を踏み出す機会になったようで良かったと思います。
- 本当に楽しかったです。ですが、楽しすぎて時間が足りないなとも思いました。初めての参加でしたけど、もっとこういうのをやって欲しいです。
- 「働き方」グループでしたが、先生のお話も聞いて、一保護者としては良かったです。保護者は先生の働き方や考えていらっしゃることを知れると、コミュニケーションの機会になっていいのかなと思いました。
- 地域の方とつながる良さを感じることができました。子どものためになる活動が増えていくといいなと思います。
- 顔の見える関係の大切さを改めて感じた。「つながり」のキーワードがこれから更に進む高齢化に重要だと思った。
- みなさんが話を聞いてくださる環境を作ってくくださったので安心して参加することができました。
- 地域の方とのコミュニケーションが取れ、新たな気づきがありました。

など、さまざまな意見が寄せられました。

環境委員会

社会福祉法人厚生館福祉会「星の子愛児園」主催

“ほしのこ☆ぼうさいらんど@SUGE” の地域防災イベントを共催しました



安全に開催されるよう
園の先生方やスタッフの皆さんと一緒に
入念に打合せ準備



大盛況！！
トリプルウィング公演

環境委員会では2025年2月15日(土)菅小学校で開催された星の子愛児園（社会福祉法人厚生館福祉会）主催の防災イベント「ほしのこ☆ぼうさいらんど@SUGE」を共催し、当日はスタッフとして運営委員メンバーとともにお手伝いに参加しました。菅中学校区地域教育会議の他、「NPO法人地域防災推進機構」、東北大学「国際防災戦略研究室」など様々な専門機関と連携共催して行われました。

この防災イベントでは体育館での川崎市消防音楽隊の演奏、災害への知識を子どもでもわかりやすく学べる防災勇士「トリプルウィング」の公演、有事に備えて優先順位が特に高い災害用のトイレや非常用オムツの体験や紹介、非常食の試食や紹介、防災グッズの展示、実際の地震さながらの揺れを体験する起震車、消防服の着用体験など、子どもも大人も楽しみながら災害・防災を身近に感じ学べる企画が沢山ありました。

環境委員会では、運営委員メンバーと一緒に前日当日の会場準備設営をはじめ、来場者の受付や誘導整理をし、また体育館で行われたトリプルウィング公演では、劇中役にも事前練習から参加して登場お手伝いしました。当日は約500名もの親子が来場し、晴天の中、星の子愛児園の先生方と一緒にイベントを大いに盛り上げました。

今回のイベントは様々な専門機関や地域の方々と連携し開催され、参加来場者も多く、親子で災害への知識と意識、身近に出来る適切な準備や災害リスクへの適応能力を身に付けるきっかけになる企画が盛り沢山でした。環境委員会でもこうした地域の方々と協力していく機会、また次世代を担う若い園スタッフや先生方皆さんとの交流も生まれ、これからの地域防災については地域連携協力に大きな可能性を感じるものとなりました。



消防音楽隊



起震車体験



非常食



災害用トイレ



非常用オムツ



消防服体験



誘導案内お手伝い
運営メンバーの鈴木和美さん



菅中学校区地域教育会議のピブスが出来ました！



今回の防災イベントではこの赤ピブスを着用しお手伝いに参加しました。これからの活動でもきっと活躍してくれることでしょう。



2024年度は2回のネットワーク会議が開催されました!!

菅中学校区地域教育会議のネットワーク会議のグループ討議では全員参加型、必ず参加者全員が発言します。他の考えや意見にも耳を傾け互いに理解しようと参加することにより、地域の様々な事柄や問題に対して自分事として考え意見を持ち委員同士の交流を深めるきっかけになります。「学びあう場・所属の委員会を超えて語り合う場」として、大切な位置づけとなっています。

第1回

■2024年11月21日(木) 18時半～ ■会場：菅小学校図書室 ■参加者：28名

- ・「菅のまちのよいところ、あぶないところ」
- ・「闇バイト」

第1回ネットワーク会議では、

- ・「菅のまちのよいところ、あぶないところ」について（菅のマップに印をつけながら）
- ・「闇バイト」について（共有資料を読んで）

をテーマにグループ討議が行われました。

菅のまちの討議では、各自おススメの場所やお店、新しいお店や変わってしまったお店、季節の風景のおススメ、また子どもにとって危険箇所やその対応策についてなど情報を共有しあい交流を深める時間となりました。

闇バイトの討議では、実際にあった闇バイトでのトラブルや事件の共有資料を読み、今若年層で起こっている問題について考えました。低年齢層からスマートフォンを使いこなす最近の子どもたちへの不安や心配、SNSの使い方や学校での情報モラルと情報リテラシー※の指導について、個人情報の問題や核家族化で昔よりも情報が偏っている問題、お金の教育についてなど、保護者の目線、学校側の目線、地域で子どもたちを見守る側からの視点、それぞれの立場でいろいろな視点からの活発な意見交換が交わされました。犯罪を未然に防ぐために、若者が巻き込まれないために、私たちには今の子どもたちに何ができるのかどんな寄り添い方が出来るのか、真剣に考える時間になりました。

菅のマップ



※●情報モラル/情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度 ●情報リテラシー/世の中に溢れるさまざまな情報を適切に活用できる基礎能力

第2回

■2025年3月21日(金) 18時半～ ■会場：菅小学校図書室 ■参加者：29名

- ・一年間の振り返り
- ・「町内会について」
- ・「学校と地域がつながることは、必要か必要じゃないか」

第2回ネットワーク会議では、1年間の各委員会活動をスライドで振り返るとともに、羽鳥議長より地域教育会議の在り方について社会教育活動と学校教育活動との両輪の連携協力の話もありました。その後5つのグループに分かれ以下をテーマにグループ討議が行われました。

- ・町内会は、必要？必要じゃない？
- ・学校と地域がつながることは、必要？必要じゃない？

町内会のテーマについては、町内会が必要な理由・町内会のメリットデメリット、町内会に入らないとゴミ捨てが出来ないは本当か？など話題は多岐に渡りました。

参加者の地元や地方部の町会についての話や近所付き合いや防災の話にも繋がり、菅のまちについて今一度考えるきっかけになったのではないのでしょうか。





地域教育会議ってなあに？



1980年代、校内暴力で荒れる学校や少年による事件が多発し、川崎でも深刻な事件が起き、教育の危機が指摘されました。そこで川崎市では、市内の全小学校を会場に教育集会を開催。242か所、参加者延べ4万人から出された6,500件の意見をもとに、地域からの教育改革をめざして「**地域教育会議**」が提案されました。1990年に3つの中学校区で試行設置され、1998年には51の中学校区、7つの行政区すべてに設置されました。また管中学校区地域会議は1992年に設置されました。



地域と学校、行政が共に協力して子どもがいきいき育つまちを作ろうというものです。そして、おとなも楽しく学べるまち、ひいてはあらゆる人々が共に生きる地域社会を目指します。

委員構成

子どもに関わる機関団体と住民委員が緩やかなネットワークを活かして活動します。



主な活動

会の運営では話し合いを大切にしています。そこでの合意形成が様々な取組を生みだします。具体的な取組としては「教育を語るつどい」と「子ども会議」の開催があります。その他の活動はそれぞれの会で創意工夫されて行われていて、管中学校区では環境委員会、広報委員会も活動しています。また、地域からの教育改革をめざすこの会の重要な活動として、学校や行政への提言があります。



子ども会議の開催

地域教育会議の活動の中で大きなウェイトを占めてきたのが子ども会議です。川崎市が2001年に施行した「子どもの権利条例」の趣旨に基づいて行われています。

※子ども会議ホームページ「川崎市 子ども会議」で検索



私たち「菅中学校区地域教育会議」は、菅の地域に根付いた「生きる力」を育む取り組みと活動を行っております。「地域」「教育」「子ども」をキーワードに、子ども世代だけでなく大人も共に学び、話し合い、コミュニティー全体の豊かさを創造していきたいと考えています。



菅中学校区地域教育会議
初代議長 故・高橋孝次さん



守り守られる安全安心なまちを目指す活動

生きがいがたくさんあるまち、共に生きる地域社会を作る活動

多世代のふれあいで、人と人とのつながりの豊かな地域社会を目指す活動

菅中学校区地域教育会議では**4**つの委員会を設置し、各委員会の活動をもとに様々な情報交換と意見交換を図っています。

「子ども会議」委員会



小学生・中学生による「体験型」と「ディスカッション型」の会議を企画・開催します。

子どもや地域を取り巻く問題についての意見交換・交流をします。

「教育を語るつどい」委員会



環境委員会



地域で子どもたちを健全に育成するために菅中学校区の「環境整備」について意見交換・交流・企画・開催します。

広報紙「のらぼう」発行をはじめ、菅中学校区地域教育会議の広報を担います。

広報委員会



一緒に活動しませんか？

「住民委員」を募集しています！

学校・地域・親・住民、様々な立場の人と一緒に、菅のことについて意見交換・活動してみませんか？



川崎市内の「7つの行政区」と「51の中学校区」すべてに地域教育会議があり、教育の社会化、地域の教育力向上、行政の市民化を理念としています。私たち「菅中学校区地域教育会議」は、次のような目的で活動します。

- 中学校区の子育て、住民自らの生涯学習について、親・教師・住民の話し合いにより、合意を作り出し、そのネットワーク化を図ります。
- 教育行政への学区内住民の総意を反映させるため、日常生活圏に根ざした教育への市民参加の恒常化を図ります。
- 地域教育振興・発展のために活動する諸団体と連携・協力するとともに、自主独立の団体として地域の教育改革を図ります。

※活動を進めるうえで、広く住民委員を随時募集しています。
任期は1期2年です。

活動している4つの委員会

- ・「教育を語るつどい」委員会
- ・「子ども会議」委員会
- ・環境委員会
- ・広報委員会

【お申し込み・お問い合わせ】

菅中学校区地域教育会議アドレス【chiiki214@yahoo.co.jp】
または【090-2630-1771（議長：羽鳥）】へ
お電話もしくはSMS（ショートメッセージ）にて、ご連絡ください。



【chiiki214@yahoo.co.jp】